

平成 29 年度第 1 回富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議
(議事概要)

日 時：平成 29 年 6 月 7 日 (水) 10:00～11:30

場 所：富山県民会館 701 号室

説明事項：(1)富山県地域活性化雇用創造プロジェクトについて

(2)国の中小企業振興施策等について

(中部経済産業局、富山労働局、富山財務事務所)

委員からの主な意見

- ・喫緊の課題である生産性の向上について、助成金を活用した I T 設備の導入などに団体を挙げて取り組んでいく。多くの中小企業者で取り組んでいくことで大きな効果が出る。
- ・ I o T や A I が大きく進歩し、普及していくにつれて人間が行う仕事や作業の領域が減るなど、人の生き方は大きく変わる。それに対応し、安心して生きていける社会の在り方を考えなければならない。
- ・新幹線の開通により県外からの学生の流入は増えたが、地方大学については定員を柔軟に増やせる仕組みを作って欲しい。また、今後の取り組みとして、外国人の学生の教育など、グローバル人材の育成に力を入れていきたい。
- ・人手不足という問題に対しては、自衛隊で既に進んでいるように、第二次産業でも女性の職域拡大が必要。女性が製造現場や技術部門で活躍できるような仕組みや環境を作り、キャンペーンを行うべきである。
- ・女性を活躍させるための「3 K」として、女性に「期待」し、「機会」を与え、「鍛える」ことが大事。製造・建設業界でも、積極的に女性の確保・育成・定着に向けて取り組んでいきたい。
- ・インターネット販売の活用など、I T と伝統産業をうまく結び付けていくことが重要。若い世代や女性の繊細な感性を活かし、伝統産業振興に取り組んでいきたい。
- ・製造現場における女性の確保については、トイレやドレッサールームの整備など、清潔で快適な環境整備が非常に効果的である。助成金などの行政支援を検討してほしい。
- ・I o T については、コンソーシアム等の枠組みの中で成果を出し、工業会の中に波及させていきたい。また、外国人の優秀な人材を積極的に受け入れる

ことで、人手不足の解消や社内教育の強化を図りたい。

- 支援制度の周知をより強化してほしい。人手不足については、出来る限り 18 歳の若者を早めに雇用することが効果的。女性の育成については、効率的に役職を与えることが大切。
- 産業振興施策については、県が主体となって積極的な予算措置をしてほしい。
- I o T はまだ技術が確立されていないことから、I o T の研究開発支援と、それに係る人材育成支援とを有機的に結び付けて事業を推進してほしい。